



# みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉

私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより

令和5年7月11日 第9号 みなみ学園義務教育学校

## 7/7 (金) セタプロジェクト

この日、4年生が主体となって運営した「セタプロジェクト」が行われました。プロジェクトでは、4年生によるセタに関する紙芝居や歌が披露されたり、各学年の代表による「セタの願い事」の発表があったり、セタの雰囲気がとても盛り上がりました。その後、1年生から9年生までの全校児童生徒で飾り付けです。一人一人が願い事を書いた短冊や折り紙で作った飾りなどを笹にくくりつけました。飾り付けでは、学校運営協議会やみなみサポーターズの方々も手伝っていただきました。また、下級生の面倒をよくみている上級生の姿がたくさんあり、素晴らしかったです。

学校運営協議会会長の中村直人さんのご厚意により、今年も立派な笹竹を3本いただきましたこと、セタプロジェクトを行うことができました。ありがとうございました。また、今回は、運営した4年生の成長や頑張り、よいところをたくさん見られたことも大きな喜びでした。



### 学校評価アンケートへのご協力を

ありがとうございました

6/30~7/7に行った学校評価アンケートでは、大変お世話になりました。この後、アンケート結果を集計・分析し、今後の指導の手立てを考えていきます。(アンケート結果や考察は、後日学校HPに掲載します。)また、7月21日(金)から26日(水)までの間に行われる二者・三者面談では、保護者の皆様のお考えやご意見などを直接うかがえる貴重な機会ととらえています。ご多忙のところかと存じますが、有意義な時間になりたいと思っています。

### 力を出し切った中央地区総体!

中央地区総体卓球の部個人戦に参加した選手の皆さんは、試合終了後、とても晴れやかな表情を見せました。力を出し切ったのだと思います。部活動での思い出は、一生の宝物になることでしょう。本当に、よく頑張りました。お疲れ様でした。



笠間菊祭りが行われるころ、笠間稲荷神社周辺に飾る菊を、5~7年生が育てています

## 4年生が手紙の書き方を学びました



6月29日(木)の5、6時間目に、4年生22名が地元郵便局長さんらの特別授業を受け、手紙の書き方について学びました。みなみ学園では、郵便局と連携して毎年、出前授業を行っています。使用した教材は「手紙の書き方テキスト中学年用」で、日本郵便が社会貢献活動として全国の小学校、中学校、高等学校などに無償で提供しているもので、郵便局長も、特別な研修を受けたうえで授業を行っているのだそうです。子どもたちは、あらかじめ家で書いてきた住所や宛名を丁寧に写しながら、表面の書き方を正しく学びました。そして、裏面には相手に気持ちが伝わるような書き方をすることなどを学びました。その後、子どもたちは、「ポストマ」などのマスコットキャラクターと一緒にポストに手紙を投函しました。今回の学習を、これからの生活に役立ててほしいと思います。

## 4年生と8年生が交流を深めました



異学年交流を行うことで、みなみ学園の一員としての所属感や愛校心を深めたり、他人を思いやる心を育てたりすることなどを目的として、今年度は、計画的に異学年交流を行うことにしています。

左の写真は、6月30日に8年生と4年生が「じゃんけん列車」をする様子です。1回戦より、2回戦、3回戦と盛り上がっていき、時間とともに子どもたちの心がつながっていくのを感じました。次回は10月13日に9年生と5年生と3年生が交流します。

## 5年生がNPO法人「アサザ基金」のゲストティーチャーから学びました

### ～涸沼及び流域河川水質浄化活動及び保護活動について～

6月29日(水)の5、6校時に、牛久市にあるNPO法人「アサザ基金」の代表である、飯島博先生をゲストティーチャーとしてお招きしました。「総合的な学習の時間」の「地域の自然を調べよう」の単元の学習について、この日は「生き物とおはなしする方法」というテーマでお話をいただきました。5年生は、先月、「セキスイ自然塾」で学校の近くを流れる二反田川の水質を学びましたが、今度はその本流である「涸沼川」や「涸沼」について学んでいきます。飯島先生は、「涸沼川」、そしてその下流にある「涸沼」、さらにその下流にある「太平洋」とのつながりについてのお話や、茨城県内にある「霞ヶ浦」と「涸沼」の違い、また、生き物の体のつくり、すみか、くらしの関係について、黒板に上手なイラストを描いて熱心に説明してくださいました。飯島先生の質問に対し、子どもたちは、積極的に自分の考えを述べていました。7月25日(火)には飯島先生のご指導のもと、上加賀田付近の涸沼川に出かけ、水質調査や生き物の観察を行う予定です。さらに秋には、涸沼にも観察に出かける予定です。



(文責：野尻)